

令和6年度第2回丸亀市文化芸術推進審議会 会議録

開催日時	令和6年11月25日(月) 午前10時00分～12時00分
開催場所	丸亀市役所 3階 303、304会議室
出席者	出席委員 大澤寅雄、近藤清志、篠原勉、嶋田典人、高橋勝子、中井今日子、 長原孝弘、橋本一仁、広谷鏡子、藤井満美、藤井睦子、森合音、 山下高志、山口雄一 (欠席委員) 横山純果 審議会委員 15名中 14名出席 事務局出席者 協働推進部：(部長) 田中壽紀 協働推進部まなび文化課：(課長) 村尾剛志 林弘樹、松岡弘樹、廣瀬憲子、香川依央
議 題	(1) 丸亀市文化芸術基本計画の進行管理について (2) 第2次丸亀市猪熊弦一郎現代美術館運営ビジョンの改定について
報 告	無し
傍 聴 者	無し

発言者	発言要旨
事務局 (林)	<p>本日は、お忙しい中お越しいただきましてありがとうございます。また、オンラインでのご参加ありがとうございます。</p> <p>只今より、令和6年度第2回丸亀市文化芸術推進審議会を開催いたします。まず、橋本会長からごあいさつをいただきたいと思います。</p>
橋本会長	<p>～橋本会長あいさつ～</p>
事務局 (林)	<p>ありがとうございました。</p> <p>なお、本日所用のためご欠席されております委員の方がいらっしゃいますのでご報告させていただきます。横山純果委員です。</p> <p>議事に入ります前に、本日の出席委員は14名で、委員過半数を超えておりますので、丸亀市文化芸術基本条例施行規則第3条第2項の規定により、本審議会が成立していることをご報告いたします。</p> <p>なお、本日の会議につきましては、午後12時00分を目処に閉会させていただきたいと考えておりますのでご協力よろしくをお願いします。</p> <p>それでは、議事に入りたいと思います。議事の進行については、丸亀市文化芸術基本条例施行規則第3条第1項の規定により、会長に議事を進めていただきたいと思っております。</p> <p>それでは、会長よろしくをお願いします。</p>
橋本会長	<p>最初に、本日の会議録署名委員は、近藤委員、藤井睦子委員にお願いしたいと思います。よろしくお願いいたします。</p> <p>本日は、議題1「丸亀市文化芸術基本計画の進行管理について」と、議題2「第2次丸亀市猪熊弦一郎現代美術館運営ビジョンの改定について」を審議いたします。</p> <p>それでは、議題1「丸亀市文化芸術基本計画の進行管理について」から、事務局より説明をお願いいたします。</p>
事務局 (香川・ 廣瀬・林)	<p>議題1「丸亀市文化芸術基本計画の進行管理について」</p> <p>～説明～</p>
橋本会長	<p>事務局の説明は以上であります。ご質問やご意見などがありましたら自由に発言をお願いします。</p>
藤井委員	<p>藤井です。(議事資料1-1)14ページの基本方針5の中で、香川県は割と外国人観光客に人気なんだと聞きますけれども、環境整備が進んでいないということで、環境整備というのは具体的にどういうことを進めたいのか教えてください。</p>

<p>事務局 (林)</p>	<p>お答えいたします。現在考えておりますのは、英語対応等はできている部分もあるんですけども、英語以外の言語の表示であるとか、外国人向けのパンフレットの作成、配布等を今現在進めているところであります。</p> <p>また、来年度に向けまして、今後、点検作業を進めまして、対応できるところは順次進めていきたいと考えています。以上です。</p>
<p>山下委員</p>	<p>今の関連で少しお伺いしたいんですけども、(議事資料 1-2 の内部評価) 27 ページで、「活力みなぎる」「観光・交流の促進」というところで、来館者満足度、リピーターというのが基準値からいけばあまり高くなってない。</p> <p>これは先ほど言われたような、内容が一つあるとは思んですけど、最近丸亀市のお城とか資料館とか、ホームページに案内は書いてあるんですけど、一例を挙げますと、お城に昔、石垣のパンフレットみたいなものをもらったことがあるんですね。リピートとか満足度っていうのは、1 回行ってまあ見たと。それじゃあ次に行こうかと思ったら、何か魅力あるのかというところが足りないんじゃないかと思うんですね。</p> <p>私は資料をもうなくしてしまってわからないですけど、今工事をされてますので、石積みのやり方とか、丸亀城の特徴とか、ホームページの中でそういう情報を、例えば年輪を調べて山崎時代が分かったとか、どんどんホームページに出していくべきじゃないかと思うんですよね。コンテンツで見て、ほんならそこを見に行こうかと。その情報量が多いことで、何回も来るという形になるんじゃないかと思うんですよね。</p> <p>資料館についてもそうなんですけど、ホームページでは、ほとんど中身が書かれてないので、2 階の常設展示とかあまり人が、例えばお城に行って、資料館に行くとかいうのをあんまり聞いたことないんですよね。</p> <p>それともう一つ、万象園の方でうちわ絵画がありますが、この情報もホームページに関連したものが 1 ヶ所にまとめて入っていない。うちわの歴史について調べてみると、ビデオが出てるんですよね。最近知って見てみたんですけど、どこから見たかという、たまたま私も調べたときに見つかっただけの話であって、ホームページから見られるかという、多分見れないんじゃないかと思うんですね。</p> <p>そういうような全部が連携したコンテンツの中身、デジタル化というのを総合的に、多言語化も非常に重要だと思うんですけど、中身のない多言語化では意味ないので、情報量をとにかく多くして、リピーターを増やしていくということ等が必要じゃないかと思うんですね。これ、付け加えておきます。</p>
<p>事務局 (村尾)</p>	<p>山下さんありがとうございます。</p> <p>情報を誰に何をどう届けるかということは、すごく今注目をしているところです。観光にとどまらず、例えばその文化芸術の情報においても、例えば、MIMOCA から発信、アイレックスから発信、丸亀市のホームページからも発信しているんですけど、お客様にとってみたら、情報を入手するのにどこから入っていくかということが非常に分かりづらいということもありまして、この情報の一元化、文化芸術情報の集約化、今年からはまなび文化課に生涯学習部門も入ったので、どこかで取り組ま</p>

<p>山下委員</p>	<p>ないといけないなという課題を持っております。</p> <p>いわゆる行政とか、各施設の指定管理者から発信される情報というのは、非常に事実に基づいているんですけど、なかなかお客様が行きたいと思う魅力がないというか、モチベーションになかなか繋がっていかないと。これは発信する側のリテラシーの問題でももちろんあると思うんですけど、例えば市民の方、一緒に活動されている市民団体の方などの協力も必要かなと思っておりますので、来年度あたりから、何か手を打てるような仕組みに繋がるようなものを検討して参ります。</p> <p>それについてもう 1 つだけ。外部から丸亀を見る視点、まあ香川県もそうなんでしょうけど。これが非常に少ないんですよ。</p> <p>自分のやってることを自分ではなかなかわからない。今選挙なんかでも、非常に SNS で、盛り上がり通ったとかいうことも出てます。1つの案として、いわゆる全国でいろんなインフルエンサーの方いらっしゃると思うんですよ。それで、まちづくりなどに興味があり、発信されてるインフルエンサーに、一度まちに来てもらって、いろんな視点から見て、何が足りないのか、何を発信したらいいのか。やっぱり若い人のそういう影響力のある人の意見を聞くというのも非常に重要じゃないかと思うんですね。</p> <p>これ一度やられたら、多分かなり新しい見方と内容、コンテンツ作りとかですね、いろんな視点が得られると思うので、これ1つの提案です。</p>
<p>高橋委員</p>	<p>高橋です。コロナも収まってきたということで、行事が充実してきているのではないかなと感じております。それに対して、参加状況とかはどういった状況なのかなと思ってます。</p> <p>準備室の事業をチラシとかで目にする人が多いんですけども、そこに集まった人たちの参加状況ですね。一定の決まった人ばかりだったとかしていないんだろうか、というような懸念をちょっと感じております。</p> <p>外に向けての発信も大事なんですけども、市民の芸術に対する意識の向上というのがとても必要かなと思ってます。私どもの団体でも、舞台芸術とか、表現活動とか、文化芸術に関する取り組みをしてるんですけども、発信の仕方が悪いと言われればそうかもしれないんですけど、なかなかそこに意識がいく市民が少ないなっていうのをすごく感じております。</p> <p>そこをちょっとお聞きしたいのと、あと城泊が今どういった予約とか利用状況なのかというのを知りたいなと思います。</p>
<p>事務局 (松岡)</p>	<p>市民会館開館準備室の松岡です。</p> <p>高橋委員さんからご指摘があった事項について、市民会館の準備に関連して取り組んでいる事業ですが、コロナ禍以降、少しずつ数を増やして戻ってきている状況です。主には、学校や施設に対するアウトリーチを中心に行っておりますが、中には参加型といいますか、ワークショップ型で参加者を募集する方法をとっているものもあります。ご指摘の通り、参加者について偏っていると見て取れるというか、そういう評価もできるというか、ファンの方、興味を持たれた方が、毎回参加してい</p>

	<p>ただけるというようなことは当然あります。</p> <p>一方で、我々としても同じ参加者ばかりでずっとやっていくのは問題があるということで、情報の発信とか、参加者の繋がった先の方々とかですね、新たな顧客、参加者をどういうふうに募るかというところを試行錯誤しているところです。</p> <p>令和5年度においては、「よこぐし」のアートマネジメント講座を参加型で行っておりますが、これも今まで参加していただいた方が半数ぐらい、新規の方が半数ぐらいで、四国学院大学の学生さんとかにもお声掛けさせていただいたり、アウトリーチ先に行った障害福祉施設の方に参加していただいたりというような、様々な事業の連携が取れてきて、少しずつですが、新たな参加者を取り入れてきているというような評価の仕方をしております。</p> <p>ご指摘いただいた発信の仕方は非常に難しいというか、いろんな手法が考えられると思いますので、今後も引き続き検討を続けていきたいと思います。私の方から以上です。</p>
<p>事務局 (村尾)</p>	<p>城泊につきましては、ようやく1件実施されまして、市全体としては、ちょっとほっとしている状況です。現状、この1件を含めまして3件のご予約をいただいております。次に予約されているのは春4月ぐらいというふうに聞いています。</p> <p>多いか少ないかという、当初の目標からいうと、若干遅いなという感じです。成果としては、1組1,265,000円という金額でありますので、市民の方にとってもなかなか難しいかなと。</p> <p>令和7年度には万博とか、瀬戸芸もありますので、そういったところに何かアクセスできないかと、今も情報共有をしている状況でございます。以上になります。</p>
<p>広谷委員</p>	<p>丸亀には、私が把握しているだけで2つの無料デーが思い浮かんだんですけど、1つはMIMOCAが、昨日と先週の土曜日(11月23~24日)に、何か感謝デーみたいなことで、年に1回無料で、大変盛況で、たくさんお客さんいらっしゃる。いつもこれぐらいいいぐらい良い美術館なのに、その日はすごくいらっしゃって。他の日は、とても空いていて気持ちがいいから時々行くんですけど、行くと本当にもう数人みたいな、ものすごい落差があります。無料デーの効果というか、それが次のお客様を呼ぶようなことは考えながらやっておられるのか。感謝デーには違うと思うんですけど、それ以上にあの良さを見てもらって、市民にも来てもらうための施策はあるか、ということ。</p> <p>あともう1つ、去年ぐらいから始まった島に行くフェリーが、(毎月)20日は無料になることについて。私はゆかりがあるので広島に行くんですけど、ちゃんとお金を落としていけばいいのに無料デーばかり行ってるんですけど、本当にすごい混んでるので、20日に行くと朝からとても賑わって、フェリーで座れないぐらい。結構ウォーキングしてらっしゃる方もいるし、本当に賑わっている感じがあります。ただ、船の便も昼間は少なくなってしまって、バスも利用してとなると、ちょっと使うには回りにくいスケジュールになっていて。住民も20日に行こうと合わせて動くので、行ってみたい人にとってのすごくいい効果はあると思うんです。けど、これも根っこに、島を豊かにしていきたいというようなお考えがあるのかお聞きしたい</p>

<p>事務局 (林)</p>	<p>と思います。</p> <p>まず、2番目の質問の航路運賃無料デーに関連する取り組みというお話でご質問いただきましたが、昨年度に関しましては、2月の航路運賃無料デーの期間に、瀬戸内国際芸術祭の開催期間外の活動ということで、有料作品を公開するという事業を実施したところであります。</p> <p>本年度におきましても、毎月20日が航路無料デーと定められておりますので、10月の19・20日はちょうど土日でしたので、県の実行委員会と協力しまして、有料作品を公開するという事業を実施しました。</p> <p>ちょっとPRが不足していたのか、来られた方は少なかったんですけども、今後とも航路運賃無料デー等を利用して島において、あわせて芸術作品を見ていただくという活動には取り組んでいこうと考えております。</p> <p>また、美術館の来館促進に関しましては、ちょうど23日がMIMOCAの開館記念日ということで、毎年無料デーとして開放されて、あわせてゲートプラザの活用事業として、たくさんの方においていただくような仕組みを実施しております。</p> <p>そのイベント日以外の来館促進も含めまして、今ちょうど観覧料の見直し方や、市民の方への割引などをいろいろ検討しているところでありまして、おっしゃる通り、平日の来館促進を促すような事業を、MIMOCA 美術振興財団の方と協力しながら定めて実施していこうと考えております。以上です。</p>
<p>事務局 (村尾)</p>	<p>補足です。こちらの議事資料1-1実施計画の11ページにも掲載させていただいておりますけれども、無料ということに関しては、企画展の会期中2日間に「親子でMIMOCAの日」ということで、子どもと親御さんに一緒に来てもらうようなことをしています。市内の子ども、65歳以上の高齢者については、現在無料ということですので、いわゆる中間層というか、働き盛りの方に来ていただくことが、無料にすることできっかけになるのかなと思っております。</p> <p>先ほど副課長の方からもご説明しましたがけれども、12月議会の方で、市民割を作りまして、常設展の方は、市民は無料。企画展の方は、今まで通りで進める一方で、県外・市外のお客様についての料金を上げることで議案を上げようとしております。これは「美術館は心の病院」という理念に基づいて、いわゆる社会的に、市民は常設展をいつでも見られるという状況をつくり出したいこととあわせて、人件費や電気代が上がって、指定管理料が高額になっていくことへの抑制を含めて、県外・市外からのお客様については、かなりご負担していただくということで。過去、消費税も何回か上がっておりますけども、開館以来、今まで上げてきていないという実情もありますから、こういった社会情勢も踏まえて料金については考えていくということになります。</p> <p>一方で、来ていただくと、本当に魅力を知っていただけるということがあります。小学生に対してのアプローチについても、ただ学校の子どもたちが一斉に見に来て一斉に帰るということではなくて、学芸員が丁寧なガイドをするなど、いわゆる見方というよりは、楽しみ方を伝えるというようなことで、いろいろと研鑽をしておりますので、行政としてもしっかりとそういう仕組みを作っていきたいと考えて</p>

	<p>おります。以上になります。</p>
近藤委員	<p>今のお話の関連なんですけど、いろんなイベントですとか、施設の魅力発信の情報発信など、ホームページとかではされてると思うんですけども、SNS の利用はされているのでしょうか。</p> <p>例えば、割とターゲットになりそうな層が利用されてる率が高い Instagram ですとか、そういう SNS のご利用はいかがなんでしょうか。</p>
事務局 (村尾)	<p>近藤委員さんのご質問にお答えいたします。</p> <p>実は、市の Instagram とか X とかは、なかなかその担当課でフットワークよくできる状態になっていないというのが実情です。これはいわゆるセキュリティの問題があるということで、本市の広報担当、今の秘書課が LINE も利用して発信しておりますが、なかなか十分でない。一例ですけれど、丸亀市文化協会や丸亀市文化振興事業協議会は、Instagram とかをやってるんですけど、なかなかフォロワー数が少ないというのが実情です。</p> <p>そういった意味でも、セキュリティの問題と、フットワークというところの、ギャップをどうにか埋めたいなということで、大きい課題があるなと思っております。</p>
事務局 (松岡)	<p>すいません、新市民会館の方なんですけど、近藤委員のご指摘のように、令和 5 年度の時点に関しては、市ホームページ、広報誌等々がメインの媒介でした。</p> <p>新市民会館の指定管理の方が決まりまして、今年から SNS として Instagram それから X を立ち上げまして、公式配信を始めたところです。</p> <p>もうしばらくすると、公式のホームページも立ち上がりますので、新市民会館に関しては今後、媒介については、市と市の外側の指定管理の運営にはなってくるので積極的に発信していけたらと考えています。</p>
近藤委員	<p>行政の立場で、SNS の利用というのは非常に慎重にやらざるをえないというところは理解できます。難しいとは思いますが、うまく協力者の方々の支援を得ることで、それぞれのターゲットに合わせた発信をされたら、閲覧数等を把握できて効果が測定もしやすいと思います。炎上とかそういうことで変な話題にならないように注意が必要なんですけども、文化的なイベントの周知とかをしている限りにおいては、あまり個人的な意見で強烈なものを出すと駄目ですけども、周知という点では非常にコストもかからず、フットワーク軽くいろんなものを出せると思いますので。1つのイベントに関しても、準備段階から何回か出すことで、フォロワーが増えていくとか、周知の効果がだんだん累積して上がっていくということも期待できると思います。上手に考え、実施者を導入することも含めてですね、無理に市が必ず主体としてやらなきゃいけないってことじゃないと思いますので、協力者を得ながら上手く考えていただければ。より外に対するアピールとか、当然地元の市民に対する場合だとまた媒体が違って、市の LINE とかですね、そういう方がよりいいのかもしれないですけど、うまく考えて使っていただければ、文化芸術の振興に、割と費用対効果もよくできるんじゃないかと思いますので、ご検討いただければと思います。</p>

橋本会長

ありがとうございました。それ以外のところで、はい。

中井委員

中井です。ちょっと前の話になるんですけど、城泊に関して、お泊まりの期間中にいろいろ盛りだくさんのおもてなしが用意されているわけですけども、それ以外に例えば、来られる方へのエクスカージョンとか、オリジナルプランみたいなことのご提案、こちらからこういうのが選べますよみたいな。プランのバリエーションみたいなものがあるのかどうか。

私が把握してないだけかもしれませんが、以前ナイトミュージアムについて、月曜日はMIMOCAがお休みだから、日曜日の夜だったら対応できるというお話は聞いたことがございます。それが頭にあったものですから、実は城泊ではない他のお客様、団体の香川プランの中でアートをテーマに回りたいという団体さんがいらっしゃって、昼間はどこか他所を回られて、夜に丸亀に入るといって団体さんでしたので、丸亀猪熊弦一郎現代美術館のナイトミュージアムをご提案しようと思ったのですが、やはり日程によって、受け入れられる、受け入れられないという形でお返事をいただきました。その辺のところ、予約は必要ですけども、臨機応変に対応できるようにすれば、アート県を打ち出しているところでもございますし、来年以降そういったテーマで乗り込んでこられる方もいるかもしれませんので、その辺の対応のところも共有していただいて、市の方でも何かこう対応していただければ、ご案内しやすいかと思っています。

それと、今年は瀬戸内海の、国立公園指定 90 周年って特別な年でありまして、飛鳥Ⅱのクルーズというのがございました。寄港が鳥羽と香川、要は高松寄港というのが目玉で、香川県が買った枠だったんですけども、高松に寄港なさった御一行様が、前日の夕方に入って翌日の夕方まで丸 1 日のオプションツアーの方で、当然ですけど 1 日に無理なく回れるところというのは、幾つか提案があったらしいです。私がどこに行かれたんですかと聞き取りをした段階で、丸亀に行ったというグループがおられました。真昼間に丸亀で数時間いたということで、どこに行かれたんですかとお聞きしましたら、丸亀城と、中津万象園、うちわミュージアムと、あとソラキン、これはおそらくゴールドタワーですね。無理なく回られて丸亀まで来て、宇多津経由で帰っていかれたということだったんです。丸亀には丸亀市猪熊弦一郎現代美術館もありますし、建築の観点でも、そういう嗜好の方は喜ばれるところが何ヶ所かございますし、これは民間ですけども平井美術館もございますし、例えばテーマ別にお望みの方には、こういうところも、その範囲だったら回れますよという提案。コンパクトなものでも結構なんですけど、バリエーションを持っておいておかれたらいいかなと感じました。

先ほどのMIMOCAもそうですけど、ウィークデーに対応できないという、企画展で混んでるときには無理かもしれませんが、そういった方たちのオーダーメイドのツアー。これが結構今人気で、パックツアーよりもオーダーメイドで入られる方が多いので、対応ができるコンテンツを網羅せよとは言いませんけども、観光協会さんだと思うんですが、どこにご相談すればいいかの窓口、その辺のところも共有していただけたら、広く皆さんにご案内できるのではないかと思います。以上です。

<p>事務局 (村尾)</p>	<p>今の話題は、どちらかという観光のサイドになりますけれども、観光協会の方も法人を設けまして、自立した形で運営をしていくスタートを切ったところですので、若いスタッフもおりますし、いろんなアイデアが出てこようかと思えます。</p> <p>そんな中で、施設の方でどのぐらい対応ができるかなんですけど、ナイトミュージアムは非常に面白い企画ではありますけれども、お客様の来られる日に、合わせてっていうのはなかなかやっばり難しい。スタッフの問題ですとか、もしくはその展示替えをされていて休館しているとか、常に対応ができないということはありますので、一定条件の中で、対応できるものはもちろん対応していきます。ただ、なかなか常時、夜開けておいてというようなことになると、いろいろ課題も多いとは思いますので、こちら側で日程とかを提供するような形にはなろうかと思えます。それから、城泊もそういったナイトミュージアムのプランオプションというのは持っていますので、できる限り対応はしていきます。</p> <p>テーマ別というのは非常に面白い話題・内容であると思えますので、観光サイドの方のいわゆる切り口として、こちらの方から提案を情報提供しておきます。</p>
<p>中井委員</p>	<p>あと、私のちょっと理解の範囲が及ばないだけかもしれませんが、基本方針、議事資料 1-1 の 4 ページが一番わかりやすいんですけども、この基本方針の(3)と(4)の部分です。</p> <p>基本方針 3 の、「市内に残されている文化資源を活用した」と、基本方針 4 の「これまで蓄積されてきた」。これが、「基本方針 3 文化芸術を生かしたまちづくり」の「文化資源を活用した都市ブランディング」、「城下町に育まれた丸亀市としての」という、締め方ですよね。</p> <p>基本方針 4 が、「これまで蓄積されてきた文化芸術全般に関わる研究成果」ということになってますが、この 2 行が、(基本方針) 3 と 4 が、私の中では入れ替わるイメージなんです。</p> <p>(3)の最後の 2 行と(4)の最後の 2 行。これまでの基本方針の中で踏襲されてきたのかもしれませんが、イメージ的に、「文化資源を活用した」とか、「城下町に育まれた丸亀市としての文化的なまちづくりを目指します」というのは、(基本方針 4) 歴史・文化の継承のイメージがあるんですが、こういう文言を、この(3)と(4)で変えているのはどういう意味でしょうか。</p>
<p>事務局 (村尾)</p>	<p>はい、お答えいたします。</p> <p>基本方針 3 は特に注力している部分でして、もともとその法の策定から言うと、文化芸術を振興するという意味合いが強くありました。</p> <p>平成 29 年以降の改正を受けて、文化芸術そのものをやるということではなくて、文化芸術を生かした、活用したということ強く出したいという書きぶりになっていますので、中井委員さんがおっしゃるように、この基本方針 3 の(3)の下の 2 行と、入れ替わるってということではないですけど、基本方針 4 の(4)にも近い文言が何か組み合わさってれば、多分今の中井委員さんのご意見というのも、満たされるのではないかなと思います。より強調した文化芸術で何々をするというような意味合い</p>

	<p>が強いということでありまして、こういう書きぶりになってることについて、ご理解いただけたらと思います。</p> <p>大澤委員 私からは、(議事資料 1-1)「基本理念の総括」9 ページと、「基本方針 1 市民主体の文化芸術の推進」10 ページ、両方に書かれている文化芸術を担う人材の高齢化について。これを課題として設定した上で、子どもたちの、文化芸術体験・参加を積極的にされてるところを、私はすごく評価したいなと思うところです。</p> <p>中学校の部活動地域移行の動向というのは、非常に大きな全国的な流れの中でありまして、具体的な活動で丸亀市が先鞭をとって形にされると、各地からも注目が集まるんじゃないかなと思ってまして、ぜひ積極的に展開されることを期待したいなと思います。</p> <p>一方で、子どもたちへのアプローチというのが、文化芸術を担う人材として、主体性を持って活動するのは非常に中長期的なビジョンというか、視野が必要になると思うんですね。差し迫って今、高齢化が進んでる状況を考えると、もう少しターゲットとしては、例えば、定年退職を迎える手前の方々の文化芸術活動を活性化するという考え方に、少し視点をずらしてもいいんじゃないかなという気がしました。</p> <p>また、市民活動のうち「学術、文化、芸術又はスポーツ」を主な活動内容とする件数というのが、令和 5 年度 78 件とあるんですね。令和 4 年度が 82 件だったのが 78 件に、4 件減っているというところが少し気になっていたところなんですけれども、これがまず路線としてどういう団体なのか。</p> <p>例えば、NPO 法人で登録されている市の団体の中で、「学術、文化、芸術又はスポーツ」というところをピックアップした数とか、市の文化に限らず、何か市民活動という形で、登録されてる団体の中の文化芸術に当てはまる数として考え、カウントされてるのかなという想像したんですけれども。そういったところに登録してない、協会に属していないっていう団体も多々あると思いますが、そういう団体に対しても、丸亀市で活動する文化芸術活動のとして、関わって欲しいというような発信をしていかれてるかどうかというところなんです。例えば、地元でピアノ教室やダンス教室をやっていると、そういう団体はこの数の中に入ってるのか。もし入ってないとしたら、そういうところには、どんなふうにアプローチされてるのかなというところが少し気になりました。以上です。</p>
<p>事務局 (村尾)</p>	<p>大澤委員ありがとうございます。</p> <p>この高齢化の問題というのは非常に、活動そのものの存続が危惧されているという現状にありまして、私が直接的に関わっていますのは、文化協会の方の高齢化。これに対して何かしようということで、一昨年度、文化協会の役員さんががらっと変わりました、若返りを図りました。委員さんが変わったことによって、主体的に、例えばイベントなどの行事の見直しというようなことも、かなり積極的なアプローチをしてくださっています。</p> <p>そんな中で出てきたのが、子どもというキーワードでして、会員が発表したり、展示をしたりするだけではなくて、展示とか発表に合わせて子どもたちがワークショップに参加する、子どもたちが実際に、手を動かして楽しんでみるみたいなことも</p>

やろうということで、動きを始めています。

ただ、これについては、大澤委員がおっしゃるように、主体的に意思を持って活動できるまで相当時間がかかりますので、長く継続をしていかないと、いわゆる文化にならないというか、行動が身につかないということはあると思います。

それから、ターゲットを定年退職以前の方を対象とすることですけれど、定年退職をしてから市民の活動に入る方よりも、定年退職以前に、市民の活動をされていた方が、健康寿命が延びているというようなことが、実際データにもあるようです。コミュニティに属していくということが、体調にも影響するという事なんですけど、年齢も、寿命も延びているということもあって、定年退職してからの時間というの、かなり活動に役立てるといってもあります。こういった方が何か興味を持つというのは、なかなか文化芸術というテーマだけではなかなか難しいということもあって、暮らしとか社会に、文化芸術がどう役に立つのかみたいな、切り口を見せないと、なかなかその文化芸術そのものに興味がわかないってようなこともあります。いろんな、それこそ全方位から、興味を持つ方々に対するアプローチや情報発信ですとか、現在、市民会館がやろうとしているようなことも、情報発信できればと思います。

それから、最後のご質問ですけども、市民活動の登録団体が78団体ということで、どういうタイプ・属性の方が減っているということがちょっとわかりづらいんですけども、文化協会に所属する方も、もう会の存続が難しいと、活動自体はやりたいたけれど、会をまとめていくのが大変だということで、お辞めになる団体があるというようなことも、実際に起こっています。一方で、民間でされている、例えばピアノ教室やダンス教室、そういったところへのアプローチですけど、私たちがイベントをやるとか、講座をやるといようなことの情報発信はできているんですけども、その方々が活動しているということはなかなか私たちも対応しきれていません。

文化芸術という、1つのジャンルでいくなれば民間も、行政も関係ないところもありますし、一方で、営利目的の部分をごまかすのかという課題もあろうかと思えます。先ほど申し上げた情報の一元化というのはそういうところにもあって、それを行政がやるということではなくて、例えば、いわゆる民間団体も含めた協議会ですとか、それを発信する市民、市民ライター・市民記者みたいなのを作って、そういったところで発信していただけるってような仕組みも、取り組んでいこうかなと思っております。

田中部長

田中です。

補足ですけども、議事資料1-1の10ページにあります、市民活動の活動分野とする件数につきましては、市民活動交流の拠点でありますマルタスの方に、市民活動登録をされてる方が、どの分野で登録したいかということも含めまして、受付をしております。その部分で、「学術、文化、芸術又はスポーツ」という分野で活動されたい方の件数が78件になったということです。全体としては、市民活動登録は200件を超えていますけども、その内訳としての登録者数になります。

市民活動の登録をされてる方につきましては、NPO法人に限らず、個人で活動された

	<p>い方も登録をされておりますので、こういう形で、いわゆる既存の団体以外で活動をされてる方についても、自分たちのスキルを生かしていきたい、そういう形で活動の主体にして、自分たちの活動を発信していきたいという方が増えているという状況にあると考えております。</p>
橋本会長	<p>どうもありがとうございました。</p>
山下委員	<p>まちづくりの件でずっと以前から気になってることがあります。議事資料 1-2 の 202 ページの「中心市街地の活性化」という意味でまちづくりがあり、もう 1 つ 65 ページにある「まちづくり補助金」が出てるとかありますよね。丸亀市のまなび文化課の組織も協働推進部が変わっていて、思い切ったことされてると思うんですけど、まちづくりが、もう今バラバラで、なんか私の頭の中で申し訳ないんですけど、いろんなところでまちづくり、例えば文化芸術であればソフト面で、地域の繋がりとかいろんなことを書いてあるんですけど、全体はどうなんだと。</p> <p>最近、観光で街中を地図とかスマホを見ながら歩いてる人もいらっしゃるんですけど、中心市街地がどこにあるのかちょっと私もよくわからないんですけど、まちづくりの概念というのは一体どういうふうにご持ってこれたらいいのか前から気になっています。</p> <p>まちづくりと言ったら、ソフト面ハード面と両方あると思います。大きく言えば全体の田園都市構想の中にもあると思うんですけど、そういう大きなところだけから分割して行って、ここで何かやっていると感じしかなかったんですよね。</p> <p>まちづくりというのは、私もいろいろコミュニティとか自治会とかで関わることもありまして、自分はどこの自治会に入っているんだろうなというのを最近初めて知って、自治会はうちの近くではもう、件数が少なくて無くなったとか。コミュニティがどこか、なんて言ったら城乾、いや城坤だと言われたり、そういうこともあるんですけど、全体的にまちづくりで、ここは災害がほとんどないので、何かみんな協力して逃げましょうなんてことほとんどないわけですよね。私はどこへ逃げたらいいのかというのは自分で勝手に調べろ、という形になるんですけど、そういう大きな意味のまちづくりの、何て言うか、組織的なものが、今必要なんじゃないかという気もするんですよね。</p> <p>文化芸術だけでまちづくりができるのではないですけど、中心になってまとめるところがあるのかということをお伺いしたい。</p> <p>あと、どこかが推進してるのかどうかってことですね。</p> <p>それと、まちづくりでこの中心市街地の活性化とあるのは、市街中心地というのはどこを指されているのか。エリアが何かあるのか。</p> <p>そういうこともちょっと一緒にお伺いしたいんですけど。</p>
田中部長	<p>田中です。</p> <p>山下委員さんがおっしゃったように、まちづくりの概念など、関わっていく分野は様々あるのが実情だと思っております。そして多岐にわたる分野を 1 ヶ所が担っていくということは、現実的に難しいものがございます。</p>

	<p>例えば、都市の整備については、都市整備部がまちづくりの主体的な部分を担っていく。協働推進部は、地域づくり課、まなび文化課、図書館、スポーツ推進課ということで、人が関わっていく中でまちをつくり上げていく、どちらかという、人づくりの分野を担っていくということになります。</p> <p>それが別々にやってるかっていうことはなくて、協働推進部が人づくりを担っていく中で、次の、まちの活性化などの部分にも繋がっていく。それはお互い別の部がやっている内容についても、関連してくるということでもありますので、どこか1ヶ所がそれを担っていくというわけではないということは、ご理解をいただけたらなと思います。</p> <p>それから中心市街地というのは、旧丸亀市、飯山町、綾歌町、地域の拠点があります中で、ここで言われてる中心市街地というのは旧丸亀市の、いわゆる商業地域のエリアとか、そういった部分で都市計画の方で定めている中心市街地のエリアがありますので、それを指してるのかなと思います。</p>
山下委員	<p>ここで言っても無理かもしれないんですけど、私は丸亀市にずっと住んでまして。丸亀が好きで、歩いてる範囲は非常に少ないんですけど、楽しいなと思える道路ができたりいろいろするんですけど。例えば、みんなの劇場ができてここが良くなるとか、でもこっちはどんどん人がいなくなって寂しくなるとか、港の方も、あんまり人が歩かないとか、そういうバランスがね。いわゆる人間の健康は、最近よく言われるように食べ物をバランスよく食べることが大事ですけど、そのバランスがうまく感じられないんですよ。ここで言うのも問題があるかと思うんですけど、そういうバランスをどこがとっているのか。</p> <p>バランスを見て、全体をこういうふうにしようとか、市の方から、この町をこうするぞと言って市民に語りかけているのを、私は聞いた経験がないと思うんですよ。でもどんどんやるべきじゃないかと思うんですよ。そうしないと、市民が参加する上で、市はこういうふうにするんですよ。市の計画はこうですよとかいうことが、もっと伝わってくるような、コミュニティとか自治会とかもあると思うんですけど、そういうやり方を、全体でもうちょっと考えていただきたいなと思います。</p> <p>単なる私の願いですけど、もう1つ、丸亀うちわの竹の動画を見て思ったんですけど、ふるさと納税に丸亀うちわ入ってないんですよ。返礼品ですね、はい。私がちょっとしか見てないんでよく分からないんですけど、竹の丸亀うちわというのが返礼品に入っていないと。</p> <p>丸亀うちわを今後、どういうふうに考えているか。産業としても、例えば会社で作ってるところといたら、1つか2つかぐらいですかね。こういう将来像っていうのはどうなんですかね。そこら辺をもうちょっと丸亀のまちづくりのイメージとして、そのうちの位置付けみたいなのはどうなのかということをお伺いしたい。</p>
事務局 (村尾)	<p>まちづくりは部長がお答えした通り、いろんな切り口がありますので、それを総括するものが、市の総合計画となろうかと思えます。</p> <p>市の総合計画自体はこうやりたいということ、概念的なもので書かれて、その概念的なものに対して、それぞれのセクションでどういうことができるかという非常</p>

	<p>に難しいというか、細かいところになってきますから、この細かいところだけ見ていったら、全体として目的に向かっていってるのか、というような懸念はあろうかと思います。</p> <p>今回のような審議会で、文化芸術の施策が、丸亀の豊かなまちづくりに繋がっているか、実感ができているかということを検証していただくのが、まさにこの場ですので、そういったことの積み重ね、それから、横断的にその情報共有したりとか、評価していくことが、1つずつのまちづくりが、全体のまちづくりに繋がっていくのかなと思います。</p> <p>あと、うちわ返礼品、先ほど調べましたらあるようです。2万円くらいですか、いろいろあるようです。地域ブランドというか丸亀ブランドというのも登録されております。うちわは作る方も少なくなっているということで、講習もしております。いろんな形でやらないといけないということで、それを市民の皆さんが目に見えるように伝わってるかっていう部分は、非常に遅れを取ってるんじゃないかなという実感はありますので、そういったところを十分にしっかりと考えていきたいと思えます。</p>
橋本会長	<p>はい。どうもありがとうございました。</p> <p>いろいろご意見ありがとうございます。</p> <p>議題1の方は、このあたりにしたいと思えますがよろしいですか。</p>
委員	はい。
橋本会長	<p>たくさんのご意見いただきましてありがとうございます。</p> <p>続きまして、議題2「第2次丸亀市猪熊弦一郎現代美術館運営ビジョンの改定について」、事務局より説明をお願いいたします。</p>
事務局 (廣瀬)	<p>議題2「第2次丸亀市猪熊弦一郎現代美術館運営ビジョンの改定について」 ～説明～</p>
橋本会長	<p>どうもありがとうございました。</p> <p>この件に関してはこのビジョンの改正は今しないということでもいいですか。</p> <p>それと、少し変更のところがあるのでもう一回今年度中に審議会をやるんですか。</p>
事務局 (村尾)	<p>すいません、ちょっと説明が足りないところがありました。</p> <p>第2次丸亀市猪熊弦一郎現代美術館運営ビジョンの1ページをご覧ください。</p> <p>「はじめ」の3段落目に、「MIMOCAは、新型コロナウイルス感染症の収束が見通せず」という文言がありまして、先ほど申し上げた通りMIMOCAの運営の行動指針みたいなもの、普遍的なものというふうに考えるとすれば、この表記自体は少し、作った当時から変わってきているということもありますので、逆に普遍的なものとするのであれば、こういった表記っていうことを外して、もう少し適切な表現に直して今年度、年度内にもう一度ご審議をいただいたらというふうに思っております。</p>

橋本会長	<p>そのような趣旨でございます。この件について、ご意見がありましたらよろしくお願いいいたします。</p> <p>いかがでしょうか。この方向でよろしいですか。</p>
委員	はい。
橋本会長	<p>それではこの件に関しましては、もう一度、年内に、ご審議いただくことになるかもしれませんが、よろしくお願いいいたします。</p> <p>それでは第2の議題はここまでということにさせていただきたいと思います。</p> <p>その他に何か事務局の方からございましょうか。</p>
事務局 (林)	～丸亀市猪熊弦一郎現代美術館の指定管理者の選定について報告～
橋本会長	<p>はいありがとうございました。</p> <p>それでは他にないようですので、長時間にわたってご意見いろいろありがとうございました。</p> <p>今日いただいたご意見、また今後の政策の方に生かさせていただきたいと思っております。</p> <p>これはこれをもちましてこの会を終了したいと思います。</p> <p>どうもありがとうございました。</p>